

(参考様式5)

事業活用活性化計画目標評価報告書

活性化計画名	小来川地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
栃木県・日光市	(栃木県)90000 (日光市)92070	1	平成20年度 ～平成24年度	平成20年度 ～平成23年度
活性化計画の区域				
小来川地区（栃木県日光市） 本活性化計画は、栃木県日光市小来川地区の受益8.2haを計画区域とし、農業用排水施設を整備し機能確保することで、生産性の高い農業基盤を確立し、農業所得の増加、農家の経営意欲の向上による安定した農業経営の持続、展開を図り、農家戸数の減少を抑制し、当地域の定住化を図る。				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能確保	8.2ha	8.2ha	100%	

(コメント)  
計画作成時における目標値を100%達成できた。  
また、平成20年度現在の農家戸数10戸に対して平成24年度1減の9戸に留めることを目標としており、平成24年3月末現在の農家戸数を農林業センサスより確認した結果、減無しの10戸であった。  
当該地区の整備により生産性の高い農業基盤が確立したことで、今後においても地域住民の定住化促進が期待できる。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
農業用排水施設	用水路 L=1,404m			日光市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
小来川用水組合	平成20年度	平成23年度	平成24年3月31日	
事業の効果				
農業用排水施設（用水路）の整備により良好な水管理、安定した水の供給が確立したことで、維持管理費の軽減とともに農業生産性の向上に効果があった。				

### 3 総合評価

(コメント)

《栃木県》

本事業により既存用水施設が整備された結果、維持管理費の軽減や農業用水の安定供給が図られ、今後の安定した農業経営の継続と生産意欲の向上が期待できる。

《日光市》

本事業により、用水路の整備をしたことで、維持管理費の軽減や効率的な水管理が可能となり、農家の生産意欲の向上と農業経営の安定が期待できる。

### 4 第三者の意見

(コメント)

農業用排水施設（用水路）の整備により、効率的な維持管理及び労力等の節減等が図れ、将来の農業経営に対し期待が持てる。

(日光市農業委員会 会長 星 一徳)